

ときがわ町地域福祉計画推進委員会 会議録

会議の名称	平成26年度第1回ときがわ町地域福祉計画推進委員会
主な議題	○計画の進捗状況について ◇地域福祉計画 ◇地域福祉活動計画 ○その他
開催日時	平成27年2月20日（金） 13時30分～16時10分
開催場所	玉川公民館 2階 講義室
会議録の公開（非公開・一部非公開）とその理由	公開
出席委員	清水孝一委員長、村田文雄副委員長、小野田直幸委員、山口文明委員、内田君子委員、村田朝子委員、杉田ふじ子委員、島田次郎委員、西澤明彦委員、篠原陽子委員、吉田千代委員
事務局	福祉課 清水誠司主幹 社会福祉協議会 宮寺進事務局長
<p>審議等内容又は概要</p> <p>1 開会 司会(福祉課清水主幹) 選出団体より長が変わったことにより、新たに委員に2名の方になっていただいた。 町PTA連合会長 小野田直幸委員、区長会長 山口文明委員に委嘱書を交付。</p> <p>2 あいさつ 清水副委員長（委員長が不在になったため代理として）</p> <p>3 自己紹介 出席者全員</p> <p>4 役員選出 ときがわ町地域福祉計画推進委員会設置規則第4条により委員長、副委員長を委員の互選により定めた。 委員長：清水孝一、副委員長：村田文雄</p> <p>5 議題 設置規則第5条により委員長が議長になる</p> <p>(1) 計画の進捗状況について ◇地域福祉計画（福祉課 清水主幹から別紙資料により説明） (14時40分～14時50分 休憩)</p>	

◇地域福祉活動計画（社会福祉協議会 宮寺事務局長から別紙資料により説明）

◎「御用聞き」について

- ・ 「御用聞き」については平成26年度からの新規取組事業であるが、社協事務局内で事業の具体像が描き切れていない。
- ・ 一方、聞いた用事を実行することについては、平成26年1月にスタートした「地域支え合いサポート事業」で既に実施しており、現在、利用会員90名、サポーター会員24名で社協の主要事業に成長している。
- ・ 用事を聞く方のみを誰が、誰に、いつ、どこで、どう行かうか等を考えて行くと、聞く方と聞かれる方のミスマッチを防ぐ観点等からも「地域支え合いサポート事業」に行きついてしまう。

「御用聞き」事業は、既に開始されていると考えられる。

- ・ 活動計画の20ページに「御用聞き」として推進内容が記載されているが、「御用聞き」という標題を含め、表記内容を現実に即し、適切なものに見直す必要があるのではないかと考えている。ただし、本日は変更の承認までは求めない。
- ・ 「御用聞き」については、計画において施策項目3 日常の見守り・助け合い、さらに孤立防止活動の促進の中に位置づけられているが、高齢者や障害者などの安否確認のための声かけや見守りについては、既存の自治会内の隣組や班の組織を活用できないかと考えている。

これを「福祉協力員（仮称）の設置」（活動計画10ページ、平成28年度新規取組事業）、「小地域福祉ネットワークづくり」（活動計画14ページ、平成28年度新規取組事業）と関連付けて検討して行きたい。

〔「御用聞き」に関する上記説明に対し、委員から特段の異議・質疑等なし。〕

【質疑及び意見交換の要点】

山口委員：自治会組織の加入促進について平成25年度に区長会で研修を行ったことがある。

転入者へは役場でPRできるが、区ではできない。絆をつくって行きたいが、理解されない部分がある。

- ・ 自治会（自主防災組織）と社会福祉協議会も見守り体制の構築の面等で連携をとって行くとよい。
- ・ 世代間交流に悩みがある。地域の祭りも一定の人が活動しているが、メンバーが固まってしまっていて地域での継承ができない。サークル活動が地域に還元されて来ないように思う。

内田委員：敬老会とふれあいサロンでは参加率はほぼ同じ。ふれあいサロンは気楽にもっと参加してもらってよいのではないかな？

島田委員：出席する人はどちらも同じ。参加しない人はどちらも出ない。敬老会とふれあいサロンの関係については、敬老会検討委員会でも話題となった。

篠原委員：福祉計画 132 ページにボランティアは無償と書いてあるが、無償とは限らないので、無償の文字をとっていただいたほうがよい。同じくサロン活動で「気の合う」はいらぬのでは？

島田委員：日常の安心安全が大切。相談もある。行政への橋渡しが大切である。みなさん努力している。

村田（朝子）委員：愛育班では子育てサロンを旧玉川、旧都幾川一緒になってひな祭りなど年中行事をやり食事を出している。見守り活動は、心配な方がいればカードを保健センターに渡している。また、便りを配布しながら自宅を訪問している。会員は95名であるが、男性でも会員になれるので参加をしていただきたい。

杉田委員：健康かわせみ会は、元、健康おばさんの会である。現在会員は80名である。かわせみは自分たちの健康は自分で守るということで活動している。高齢化している。若い人が入ってこない。

かわせみ会とは別に、地域サロン運営に関わっているが、高齢者を移送してくる足がないことが不便。高齢者のみなさんも外に出たいとは思っている。

村田（文雄）副委員長：本日の会議の中でも出てきたことだが、自主防災組織や地域での見守り体制を築いていく上で、住民が自治会に加入しているということが大きな基本となる。自治会加入率が少しでも上がるよう努力が必要である。

自治会に入っていることが、防災や福祉の面でメリットであるということが実感できるようになることが望ましい。

清水委員長：明日以降であっても、計画について何か気がついたことがあれば、福祉課、社協に連絡いただきたい。

（2）その他

清水主幹：埼玉県立大学の新井利民先生の指導している学生の皆さんが昨年度から地域福祉の観点から大附地区に調査を行っていただいている。先般報告会があり、その資料をいただいたので配布する。

今年度の課題は「地域文化の役割と課題」、「防災活動」を取り上げ、調査いただいているのでご覧いただきたい。

6 閉 会 村田副委員長

≪ 16時10分終了 ≫